

令和7年度 第2回津島市民病院経営評価委員会 評価委員意見等一覧（令和7年3月／書面開催）

	実行計画取組事項名及び所管部署		意見内容	
経営強化プラン実行計画 R6総括表について 【資料1】	5	「入院期間Ⅱ以内での退院」 地域医療センター	岩瀬委員	DPCⅡ以内退院率および急性期在院日数は目標達成されており、急性期医療の重要な指標がしっかり改善されています。
	6	救急受入の向上 救急車受入件数	松浦委員	救急車の受入件数は入院に直結するため、実数を増やしていきたい。 残念ながらお断り率が上昇しているため、その要因の検討が必要。 また一定の基準を設けて地域包括ケア病棟への直接入院も検討されてはどうか。
		救急車お断り率	岩瀬委員	救急車のお断り率については、目標の15%が未達でした。その改善には医師数の増加が必要です。幸い、常勤医師数は3名増加と良い傾向です。看護師の離職率の改善もあり、さらなる改善の継続が望まれます。
	20	補助金の有効活用 新規補助金の掘起し数	松浦委員	補助金は各種費用に対して大きな補填財源となる。今回0件の見込みであるが、情報収集方法の検討など、取り組み強化が求められる。
	27	時間外勤務の削減 事務職時間外勤務総時間	松浦委員	看護師だけでなく事務職も増加していることから、業務の見直しやRPAの導入など比較的導入障壁の低いものからDXを推進してはどうか。
	31	サービス意識の醸成 ご意見箱件数／看護に対する悪い意見	松浦委員	看護師は特に患者に近いので、接遇評価に関して厳しい意見が届きやすいので、個人や部署に対する指摘ではなく、全体の仕組みとしての改善を考慮されたい。また、カスハラに対しては病院の方針を明確にして対処することで、職員を守る体制の強化も進めてはどうか。
評価委員意見を受けての取組 R6総括表について 【資料2】	27	時間外勤務の削減 医師の時間外労働の削減	松浦委員	患者数の増加による業務増は致し方ないが、総括に挙げられている通り、IT化やタスクシェアの推進が重要と考える。
	39	医師事務作業補助者の充実 医師事務作業補助者数	松浦委員	外来の診療補助者・事務補助者を対象にし、上位の加算を取得したのは素晴らしい。総括にも記載されている通り教育体制の整備は定着と質の担保に重要であるため、引き続き検討されたい。
	33	コスト意識の醸成 コスト入力漏れ率（外来）	岩瀬委員	経費削減については電気使用量を削減できましたが、電気使用量には季節変動があり、今年度と次年度の同時期を比較して評価することが望まれます。さらに繁忙期と閑散期で各支出費は有意差がある指標が多く、留意すべきです。
その他意見 自由記載			岩瀬委員	職員満足度は増加しましたが、回答率が低かったと報告されています。回答率の記載がないと、満足度の改善が優位か否かの判定はできません。特に回答率の低い職種があれば、その職種での回答率を改善する必要があります。
			松浦委員	診療報酬改定や、人件費、水道・光熱費など高騰する中で、半数を超える指標において目標を達成していることは大いに評価できる。引き続きこれらの取り組みを院長の強力な指導の下、継続発展させていただきたい。